

インド・ボンド・オープン (毎月決算型)

運用報告書(全体版)

第59期 (決算日 2018年6月12日)
第60期 (決算日 2018年7月12日)
第61期 (決算日 2018年8月13日)
第62期 (決算日 2018年9月12日)
第63期 (決算日 2018年10月12日)
第64期 (決算日 2018年11月12日)

(作成対象期間 2018年5月15日～2018年11月12日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約9年10カ月間 (2013年7月10日～2023年5月12日)	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. インド・ルピー建ての債券 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii. 国際機関等が発行する債券 ハ. ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの受益証券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			JPMorgan GBI-EM インド (円換算)		公 社 債 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
35期末(2016年6月13日)	10,512	60	△ 2.0	12,094	△ 1.9	96.4	185
36期末(2016年7月12日)	10,219	60	△ 2.2	11,849	△ 2.0	97.2	179
37期末(2016年8月12日)	10,519	60	3.5	12,345	4.2	96.9	185
38期末(2016年9月12日)	10,534	60	0.7	12,442	0.8	95.8	185
39期末(2016年10月12日)	10,670	60	1.9	12,730	2.3	94.7	187
40期末(2016年11月14日)	10,884	60	2.6	13,131	3.1	94.5	170
41期末(2016年12月12日)	11,811	60	9.1	14,394	9.6	95.1	149
42期末(2017年1月12日)	11,610	60	△ 1.2	14,227	△ 1.2	95.4	143
43期末(2017年2月13日)	11,463	60	△ 0.7	14,076	△ 1.1	95.7	137
44期末(2017年3月13日)	11,440	60	0.3	14,162	0.6	94.4	136
45期末(2017年4月12日)	11,297	60	△ 0.7	14,101	△ 0.4	94.5	120
46期末(2017年5月12日)	11,735	60	4.4	14,756	4.6	95.6	120
47期末(2017年6月12日)	11,671	60	△ 0.0	14,820	0.4	94.2	111
48期末(2017年7月12日)	11,919	60	2.6	15,191	2.5	95.4	114
49期末(2017年8月14日)	11,626	60	△ 2.0	14,878	△ 2.1	92.4	110
50期末(2017年9月12日)	11,698	60	1.1	15,024	1.0	91.3	110
51期末(2017年10月12日)	11,639	60	0.0	15,023	△ 0.0	95.6	91
52期末(2017年11月13日)	11,714	60	1.2	15,191	1.1	91.0	87
53期末(2017年12月12日)	11,697	60	0.4	15,310	0.8	95.7	88
54期末(2018年1月12日)	11,431	60	△ 1.8	15,037	△ 1.8	94.4	87
55期末(2018年2月13日)	10,924	60	△ 3.9	14,457	△ 3.9	94.8	86
56期末(2018年3月12日)	10,494	60	△ 3.4	14,001	△ 3.2	94.7	83
57期末(2018年4月12日)	10,651	60	2.1	14,274	1.9	94.1	84
58期末(2018年5月14日)	10,313	60	△ 2.6	13,967	△ 2.2	92.4	80
59期末(2018年6月12日)	10,304	60	0.5	14,023	0.4	94.1	80
60期末(2018年7月12日)	10,213	60	△ 0.3	14,053	0.2	95.1	80
61期末(2018年8月13日)	10,134	60	△ 0.2	14,077	0.2	95.9	78
62期末(2018年9月12日)	9,525	60	△ 5.4	13,286	△ 5.6	94.8	71
63期末(2018年10月12日)	9,428	60	△ 0.4	13,342	0.4	94.1	56
64期末(2018年11月12日)	9,836	60	5.0	14,094	5.6	94.8	59

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EM インド(円換算)は、JPMorgan GBI-EM インド(インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan GBI-EM インド(インド・ルピーベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

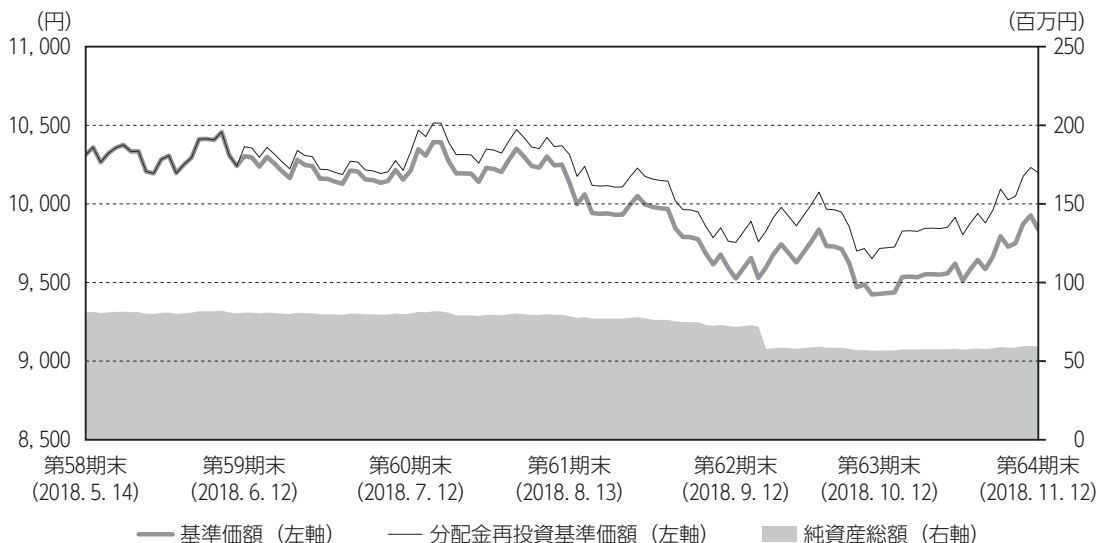
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第59期首：10,313円

第64期末：9,836円（既払分配金360円）

騰落率：△1.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、債券の利息収入と債券価格の上昇（金利は低下）がプラスに寄与した一方で、インド・ルピーが対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

インド・ボンド・オープン（毎月決算型）

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン GBIーEM インド (円換算)		公 社 債 入 率 組 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第59期	(期首) 2018年 5 月14日	円 10, 313	% —	13, 967	% —	% 92. 4
	5 月末	10, 250	△ 0. 6	13, 876	△ 0. 7	93. 7
	(期末) 2018年 6 月12日	10, 364	0. 5	14, 023	0. 4	94. 1
第60期	(期首) 2018年 6 月12日	10, 304	—	14, 023	—	94. 1
	6 月末	10, 128	△ 1. 7	13, 845	△ 1. 3	94. 7
	(期末) 2018年 7 月12日	10, 273	△ 0. 3	14, 053	0. 2	95. 1
第61期	(期首) 2018年 7 月12日	10, 213	—	14, 053	—	95. 1
	7 月末	10, 203	△ 0. 1	14, 080	0. 2	95. 4
	(期末) 2018年 8 月13日	10, 194	△ 0. 2	14, 077	0. 2	95. 9
第62期	(期首) 2018年 8 月13日	10, 134	—	14, 077	—	95. 9
	8 月末	9, 846	△ 2. 8	13, 673	△ 2. 9	93. 9
	(期末) 2018年 9 月12日	9, 585	△ 5. 4	13, 286	△ 5. 6	94. 8
第63期	(期首) 2018年 9 月12日	9, 525	—	13, 286	—	94. 8
	9 月末	9, 761	2. 5	13, 700	3. 1	93. 7
	(期末) 2018年10月12日	9, 488	△ 0. 4	13, 342	0. 4	94. 1
第64期	(期首) 2018年10月12日	9, 428	—	13, 342	—	94. 1
	10月末	9, 643	2. 3	13, 695	2. 6	94. 4
	(期末) 2018年11月12日	9, 896	5. 0	14, 094	5. 6	94. 8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 5. 15 ～ 2018. 11. 12)

■インド債券市況

インド債券金利は低下（債券価格は上昇）しました。

原油高や食料品価格の上振れからインフレ率が高まったこと、原油高や内需の強さを背景に経常収支の赤字幅が拡大したこと、またインド国内の銀行での不良債権問題への懸念が高まったことなどを受けて、インドの金利は上昇しました。その後は、インフレ率の鈍化や原油価格が下落したことなどを受けて、金利は低下に転じました。

■為替相場

インド・ルピー為替相場は対円で下落しました。

トルコ・リラが急落するなど、新興国通貨は全般的に下落しました。また、インドの経常収支が原油高や内需の強さを背景に赤字幅を拡大したことや、インド国内の銀行での不良債権問題への懸念が高まったことを受けて、インド・ルピーは対米ドルで軟調に推移しました。そのため、ルピーは対円でも軟調に推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券等を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

ポートフォリオについて

(2018. 5. 15 ～ 2018. 11. 12)

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

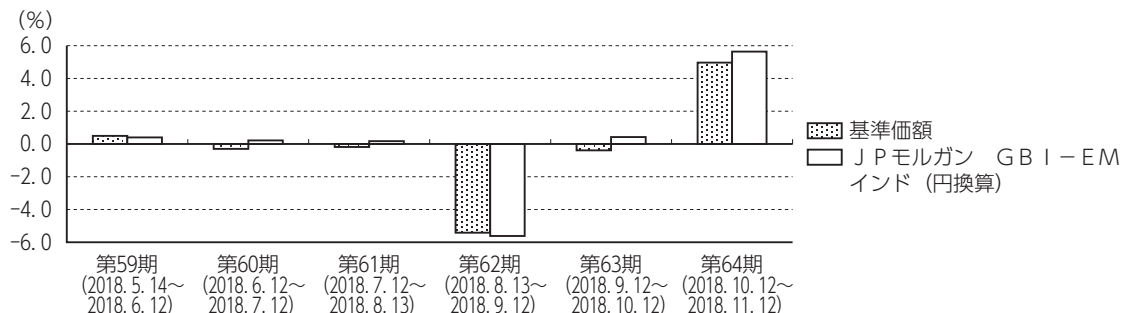
■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建ての債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
	2018年5月15日 ～2018年6月12日	2018年6月13日 ～2018年7月12日	2018年7月13日 ～2018年8月13日	2018年8月14日 ～2018年9月12日	2018年9月13日 ～2018年10月12日	2018年10月13日 ～2018年11月12日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率 (%)	0.58	0.58	0.59	0.63	0.63	0.61
当期の収益 (円)	46	47	49	43	42	55
当期の収益以外 (円)	13	12	10	16	17	4
翌期繰越分配対象額 (円)	2,686	2,674	2,663	2,647	2,629	2,624

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 46.31円	✓ 47.93円	✓ 49.55円	✓ 43.65円	✓ 42.40円	✓ 55.07円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 2,699.86	✓ 2,686.20	✓ 2,674.16	✓ 2,663.73	✓ 2,647.44	✓ 2,629.87
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,746.18	2,734.13	2,723.71	2,707.38	2,689.85	2,684.95
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,686.18	2,674.13	2,663.71	2,647.38	2,629.85	2,624.95

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド」の受益証券等を通じて、インド・ルピー建ての債券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

1万口当りの費用の明細

項 目	第59期～第64期 (2018. 5. 15～2018. 11. 12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	73円	0. 729%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 983円です。
(投 信 会 社)	(33)	(0. 326)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0. 381)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 022)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	8	0. 083	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0. 058)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0. 021)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	81	0. 812	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年5月15日から2018年11月12日まで)

決 算 期	第 59 期 ～ 第 64 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	142	264	11,353	20,823

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第58期末	第 64 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	42,241	31,030	58,938

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年6月12日)、(2018年7月12日)、(2018年8月13日)、(2018年9月12日)、(2018年10月12日)、(2018年11月12日)現在

項 目	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末
(A) 資産	81,452,370円	80,801,926円	79,125,037円	72,334,400円	57,151,992円	59,639,499円
コール・ローン等	945,307	939,565	934,622	890,248	712,768	700,787
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド (評価額)	80,507,063	79,862,361	78,190,415	71,444,152	56,439,224	58,938,712
(B) 負債	564,560	567,685	568,186	544,535	436,509	435,094
未払収益分配金	471,025	471,347	465,102	452,236	360,930	361,135
未払信託報酬	93,031	95,324	101,520	90,240	73,126	71,128
その他未払費用	504	1,014	1,564	2,059	2,453	2,831
(C) 純資産総額 (A－B)	80,887,810	80,234,241	78,556,851	71,789,865	56,715,483	59,204,405
元本	78,504,229	78,557,984	77,517,047	75,372,705	60,155,013	60,189,240
次期繰越損益金	2,383,581	1,676,257	1,039,804	3,582,840	3,439,530	984,835
(D) 受益権総口数	78,504,229口	78,557,984口	77,517,047口	75,372,705口	60,155,013口	60,189,240口
1万口当り基準価額 (C/D)	10,304円	10,213円	10,134円	9,525円	9,428円	9,836円

* 第58期末における元本額は78,454,882円、当作成期間（第59期～第64期）中における追加設定元本額は352,595円、同解約元本額は18,618,237円です。

* 第64期末の計算口数当りの純資産額は9,836円です。

* 第64期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は984,835円です。

■投資信託財産の構成

2018年11月12日現在

項 目	第 64 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド・ルピー債 マザーファンド	58,938	98.8
コール・ローン等、その他	700	1.2
投資信託財産総額	59,639	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝113.94円、1インド・ルピー＝1.58円です。

(注3) ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて、第64期末における外貨建純資産（3,580,526千円）の投資信託財産総額（3,589,148千円）に対する比率は、99.8%です。

■特定資産の価格等の調査

当ファンドの主要投資対象であるダイワ・インド・ルピー債マザーファンドにおいて行なった取引のうち、投資信託および投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、あずさ監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（2018年5月15日～2018年11月12日）に該当した取引は、直物為替先渡取引が9件あり、該当取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

なお、直物為替先渡取引については、取引の相手方の名称、通貨の種類、売買の別、想定元本、満期日その他当該取引の内容に関することについて調査を委託しました。

■損益の状況

第59期 自 2018年 5月15日 至 2018年 6月12日		第61期 自 2018年 7月13日 至 2018年 8月13日		第63期 自 2018年 9月13日 至 2018年10月12日		
第60期 自 2018年 6月13日 至 2018年 7月12日		第62期 自 2018年 8月14日 至 2018年 9月12日		第64期 自 2018年10月13日 至 2018年11月12日		
項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(A) 配当等収益	△ 1円	△ 4円	△ 7円	△ 1円	△ 1円	△ 3円
支払利息	△ 1	△ 4	△ 7	△ 1	△ 1	△ 3
(B) 有価証券売買損益	491, 395	141, 699	47, 152	4, 050, 656	145, 183	2, 889, 261
売買益	491, 840	—	9, 828	49, 614	16, 810	2, 889, 261
売買損	△ 445	△ 141, 699	△ 56, 980	△ 4, 100, 270	△ 161, 993	—
(C) 信託報酬等	△ 93, 535	△ 95, 834	△ 102, 070	△ 90, 735	△ 73, 520	△ 71, 506
(D) 当期損益金 (A + B + C)	397, 859	237, 537	149, 229	4, 141, 392	218, 704	2, 817, 752
(E) 前期繰越損益金	△ 16, 788, 889	△ 16, 754, 615	△ 17, 126, 560	△ 17, 163, 867	△ 17, 232, 648	△ 17, 706, 436
(F) 追加信託差損益金	19, 245, 636	19, 139, 756	18, 780, 695	18, 174, 655	14, 372, 752	14, 264, 984
(配当等相当額)	(21, 195, 116)	(21, 102, 297)	(20, 729, 318)	(20, 077, 255)	(15, 925, 727)	(15, 828, 995)
(売買損益相当額)	(△ 1, 949, 480)	(△ 1, 962, 541)	(△ 1, 948, 623)	(△ 1, 902, 600)	(△ 1, 552, 975)	(△ 1, 564, 011)
(G) 合計 (D + E + F)	2, 854, 606	2, 147, 604	1, 504, 906	△ 3, 130, 604	△ 3, 078, 600	△ 623, 700
(H) 収益分配金	△ 471, 025	△ 471, 347	△ 465, 102	△ 452, 236	△ 360, 930	△ 361, 135
次期繰越損益金 (G + H)	2, 383, 581	1, 676, 257	1, 039, 804	△ 3, 582, 840	△ 3, 439, 530	△ 984, 835
追加信託差損益金	19, 138, 196	19, 044, 939	18, 699, 726	18, 051, 456	14, 266, 906	14, 235, 370
(配当等相当額)	(21, 087, 676)	(21, 007, 480)	(20, 648, 349)	(19, 954, 056)	(15, 819, 881)	(15, 799, 381)
(売買損益相当額)	(△ 1, 949, 480)	(△ 1, 962, 541)	(△ 1, 948, 623)	(△ 1, 902, 600)	(△ 1, 552, 975)	(△ 1, 564, 011)
繰越損益金	△ 16, 754, 615	△ 17, 368, 682	△ 17, 659, 922	△ 21, 634, 296	△ 17, 706, 436	△ 15, 220, 205

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(a) 経費控除後の配当等収益	363, 585円	376, 530円	384, 133円	329, 037円	255, 084円	331, 521円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	21, 195, 116	21, 102, 297	20, 729, 318	20, 077, 255	15, 925, 727	15, 828, 995
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	21, 558, 701	21, 478, 827	21, 113, 451	20, 406, 292	16, 180, 811	16, 160, 516
(f) 分配金	471, 025	471, 347	465, 102	452, 236	360, 930	361, 135
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	21, 087, 676	21, 007, 480	20, 648, 349	19, 954, 056	15, 819, 881	15, 799, 381
(h) 受益権総口数	78, 504, 229□	78, 557, 984□	77, 517, 047□	75, 372, 705□	60, 155, 013□	60, 189, 240□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンド

運用報告書 第7期（決算日 2018年11月12日）

（作成対象期間 2017年11月14日～2018年11月12日）

ダイワ・インド・ルピー債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. インド・ルピー建ての債券 ロ. インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの i. インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券 ii. 国際機関等が発行する債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

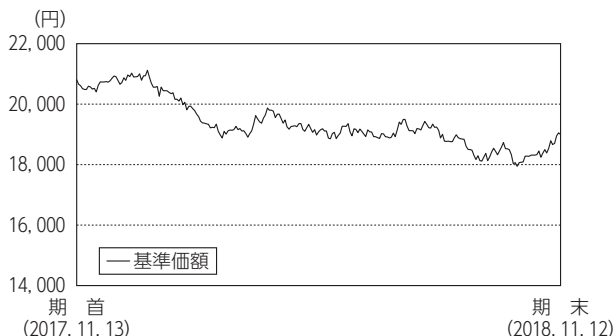
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M イ ン ド (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期首) 2017年11月13日	20,807	—	20,429	—	91.4
11月末	20,733	△ 0.4	20,427	△ 0.0	93.5
12月末	20,788	△ 0.1	20,414	△ 0.1	95.2
2018年 1月末	20,100	△ 3.4	19,696	△ 3.6	93.2
2月末	19,336	△ 7.1	18,996	△ 7.0	94.8
3月末	19,508	△ 6.2	19,223	△ 5.9	94.3
4月末	19,252	△ 7.5	18,957	△ 7.2	93.1
5月末	18,962	△ 8.9	18,660	△ 8.7	94.2
6月末	18,866	△ 9.3	18,618	△ 8.9	95.1
7月末	19,146	△ 8.0	18,934	△ 7.3	95.8
8月末	18,604	△ 10.6	18,387	△ 10.0	94.3
9月末	18,581	△ 10.7	18,423	△ 9.8	94.1
10月末	18,495	△ 11.1	18,417	△ 9.8	94.8
(期末) 2018年11月12日	18,994	△ 8.7	18,954	△ 7.2	95.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J P モ ル ガ ン G B I - E M イ ン ド (円換算) は、J P モ ル ガ ン G B I - E M イ ン ド (インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P モ ル ガ ン G B I - E M イ ン ド (インド・ルピーベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用していません。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：20,807円 期末：18,994円 騰落率：△8.7%

【基準価額の主な変動要因】

主にインド・ルピー建ての債券に投資した結果、債券の利息収入はプラス要因でしたが、債券価格の下落（金利は上昇）やインド・ルピーが対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド債券市況

インド債券金利は上昇（債券価格は下落）しました。

当作成期の初めは、干ばつの影響を受けた物価上昇や、2019年の選挙を控えて2018年度の予算案が財政支出を拡大する内容となっていたことを受けて、金利は上昇しました。当作成期の後半は、原油高や食料品価格の上振れからインフレ率が高まったこと、原油高や内需の強さを背景に経常収支の赤字幅が拡大したこと、またインド国内の銀行での不良債権問題への懸念が高まったことなどを受けて、インドの金利は上昇しました。その後は、インフレ率の鈍化や原油価格が下落したことなどを受けて、金利は低下に転じました。

○為替相場

インド・ルピー為替相場は対円で下落しました。

当作成期の初めは、地政学リスクの高まりや米国の保護貿易主義的な姿勢を受けて市場のリスク回避度が高まったため、新興国通貨は全般的に下落し、インド・ルピーも対円で下落しました。当作成期の後半も、トルコ・リラが急落するなど、新興国通貨が全般的に下落しました。また、インドの経常収支が原油高や内需の強さを背景に赤字幅を拡大したことや、インド国内の銀行での不良債権問題への懸念が高まったことを受けて、ルピーは対米ドルで軟調に推移しました。そのため、ルピーは対円でも軟調に推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

◆ポートフォリオについて

債券ポートフォリオは、国債を中心にインド・ルピー建債券等に投資しました。また、米ドル建社債に投資した部分については直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はインド債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、インド債券等に投資することにより信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、インド・ルピー建ての債券とインド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資します。インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行ないます。実際の運用においては、政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどを勘案し運用いたします。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用	29
（保管費用）	(22)
（その他）	(7)
合 計	29

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
公 社 債

当		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 6.6% 2019/3/4	230,756	India Government Bond (インド) 8.3% 2042/12/31	230,756
India Government Bond (インド) 8.33% 2026/7/9	93,649	India Government Bond (インド) 8.32% 2032/8/2	82,417
India Government Bond (インド) 8.3% 2042/12/31	83,430	India Government Bond (インド) 8.17% 2044/12/1	81,648
India Government Bond (インド) 6.68% 2031/9/17	76,636	Housing Development Finance Corp Ltd (インド) 8.2% 2021/7/29	80,393
Power Grid Corp of India Ltd (インド) 7.2% 2027/8/9	74,472	Power Grid Corp of India Ltd (インド) 7.2% 2027/8/9	72,607
Rural Electrification Corp Ltd (インド) 3.875% 2027/7/7	44,629	India Government Bond (インド) 9.23% 2043/12/23	54,279
		INDIAN RAILWAY FINANCE CORP LTD (インド) 3.917% 2019/2/26	35,648
		Bharti Airtel Ltd (インド) 4.375% 2025/6/10	20,448
		Rural Electrification Corp Ltd (インド) 3.875% 2027/7/7	19,959
		EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 6.6% 2019/3/4	7,869

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2017年11月14日から2018年11月12日まで)

			買 付 額	売 付 額
			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
外	アメリカ	特殊債券	—	(100)
		社 債 券	398	684
国	インド	国債証券	千インド・ルピー 150,600	千インド・ルピー 283,450
		特殊債券	148,875	4,980
		社 債 券	45,970	95,579

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注 4) 単位未満は切捨て。

(2) 直物為替先渡取引

(2017年11月14日から2018年11月12日まで)

種 類	取 引 契 約 金 額	
	買 建	売 建
直物為替先渡取引	百万円	百万円
	4,995	76

(注 1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。
(注 2) 単位未満は切捨て。

(2017年11月14日から2018年11月12日まで)

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当 期 末							
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちB B格以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千アメリカ・ドル 3,000	千アメリカ・ドル 2,897	千円 330,168	% 9.2	% —	% 4.9	% 4.3	% —
インド	千インド・ルピー 1,975,000	千インド・ルピー 1,954,808	千円 3,088,597	% 86.1	% —	% 61.8	% 13.4	% 10.8
合 計	—	—	3,418,765	95.3	—	66.7	17.8	10.8

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当 期		未				
区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
				%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ		Oil India Ltd	社 債 券	5. 3750	200	202	23, 079	2024/04/17
		Bharti Airtel Ltd	社 債 券	4. 3750	600	532	60, 702	2025/06/10
		Bharat Petroleum Corp Ltd	社 債 券	4. 6250	650	648	73, 851	2022/10/25
		Adani Transmission Ltd	社 債 券	4. 0000	250	218	24, 842	2026/08/03
		Reliance Holdings USA Inc	社 債 券	5. 4000	700	720	82, 078	2022/02/14
		State Bank of India London	社 債 券	4. 8750	400	402	45, 862	2024/04/17
		Rural Electrification Corp Ltd	社 債 券	3. 8750	200	173	19, 751	2027/07/07
通貨小計	銘柄数	7銘柄						
	金 額				3, 000	2, 897	330, 168	
インド				%	千インド・ルピー	千インド・ルピー	千円	
		India Government Bond	国債証券	9. 1500	50, 000	53, 300	84, 214	2024/11/14
		India Government Bond	国債証券	8. 3300	150, 000	154, 180	243, 605	2026/07/09
		India Government Bond	国債証券	8. 9700	150, 000	163, 014	257, 562	2030/12/05
		India Government Bond	国債証券	7. 1600	50, 000	49, 212	77, 755	2023/05/20
		India Government Bond	国債証券	8. 2800	100, 000	102, 780	162, 392	2027/09/21
		India Government Bond	国債証券	9. 2300	70, 000	78, 509	124, 044	2043/12/23
		India Government Bond	国債証券	9. 2000	50, 000	54, 516	86, 135	2030/09/30
		India Government Bond	国債証券	8. 1700	50, 000	50, 587	79, 928	2044/12/01
		India Government Bond	国債証券	6. 6200	150, 000	124, 713	197, 046	2051/11/28
		India Government Bond	国債証券	6. 7900	100, 000	94, 080	148, 646	2027/05/15
		India Government Bond	国債証券	7. 6100	50, 000	49, 325	77, 933	2030/05/09
		India Government Bond	国債証券	6. 8400	50, 000	48, 845	77, 175	2022/12/19
		India Government Bond	国債証券	6. 9700	100, 000	95, 377	150, 695	2026/09/06
		India Government Bond	国債証券	6. 6800	50, 000	45, 962	72, 619	2031/09/17
		Food Corp of India	特殊債券	9. 9500	50, 000	51, 641	81, 592	2022/03/07
		EXPORT IMPORT BANK OF INDIA	特殊債券	8. 1500	50, 000	48, 125	76, 037	2030/01/21
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6. 6000	145, 000	144, 652	228, 550	2019/03/04
		Power Grid Corp of India Ltd	社 債 券	7. 8900	50, 000	48, 298	76, 311	2027/03/09
		Power Finance Corp Ltd	社 債 券	9. 7000	50, 000	50, 927	80, 465	2020/01/31
		HDFC Bank Ltd	社 債 券	7. 9500	100, 000	93, 256	147, 344	2026/09/21
		ICICI Bank Ltd	社 債 券	7. 6000	110, 000	107, 065	169, 163	2023/10/07
		Axis Bank Ltd	社 債 券	7. 6000	50, 000	48, 260	76, 251	2023/10/20
Axis Bank Ltd	社 債 券	8. 8500	50, 000	50, 681	80, 076	2024/12/05		

区 分		当 期			末		
		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
		LIC Housing Finance Ltd	社 債 券	7.5850	千インド・ルピー 50,000	千インド・ルピー 49,723	千円 78,562
		INDIAN RENEW ENERGY DEV	社 債 券	8.0500	50,000	47,146	74,491
		NTPC Ltd	社 債 券	9.1700	50,000	50,630	79,995
通貨小計	銘柄数	26銘柄					
	金 額				1,975,000	1,954,808	3,088,597
合 計	銘柄数	33銘柄					
	金 額						3,418,765

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3) 直物為替先渡取引残高

2018年11月12日現在

種 類	取 引 契 約 残 高	
	想 定 元 本 額	
	買 建	売 建
直物為替先渡取引	百万円	百万円
	345	—

(注 1) インド・ルピー（対象通貨）の買建および売建の金額です。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年11月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円	%
	3,418,765	95.3
コール・ローン等、その他	170,383	4.7
投資信託財産総額	3,589,148	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.94円、1インド・ルピー=1.58円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産（3,580,526千円）の投資信託財産総額（3,589,148千円）に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年11月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,612,628,373円
コール・ローン等	57,445,947
公社債（評価額）	3,418,765,597
未収入金	33,489,490
未収利息	93,229,781
前払金	376,640
前払費用	9,320,918
(B) 負債	23,835,209
未払金	23,700,000
その他未払費用	135,209
(C) 純資産総額（A－B）	3,588,793,164
元本	1,889,393,881
次期繰越損益金	1,699,399,283
(D) 受益権総口数	1,889,393,881口
1万口当り基準価額（C／D）	18,994円

* 期首における元本額は2,171,533,554円、当作成期間中における追加設定元本額は250,274,336円、同解約元本額は532,414,009円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、インド・ボンド・オープン（毎月決算型）31,030,174円、ダイワ・インド・ルピー債オープン（毎月分配型）1,858,363,707円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は18,994円です。

■損益の状況

当期 自 2017年11月14日 至 2018年11月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	262,314,784円
受取利息	262,340,657
支払利息	△ 25,873
(B) 有価証券売買損益	△ 631,597,410
売買益	5,085,464
売買損	△ 636,682,874
(C) 先物取引等損益	△ 19,178,298
取引益	29,087,372
取引損	△ 48,265,670
(D) その他費用	△ 6,016,666
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△ 394,477,590
(F) 前期繰越損益金	2,346,748,347
(G) 解約差損益金	△ 494,860,284
(H) 追加信託差損益金	241,988,810
(I) 合計 (E + F + G + H)	1,699,399,283
次期繰越損益金 (I)	1,699,399,283

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。